

東京子育て応援事業



東京子育て応援事業とは

「東京子育て応援基金」を活用し、NPO・企業等による先駆的・先進的な取組を支援

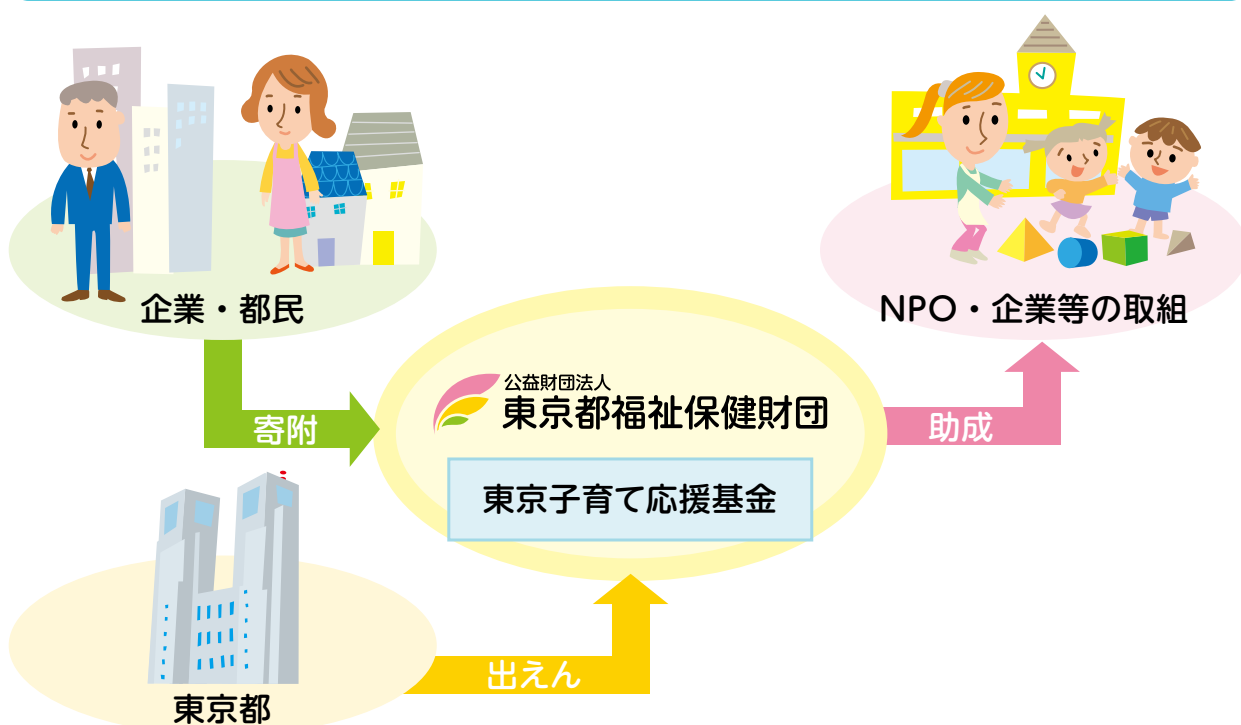
現在、東京は、かつて経験したことのないほど急速に少子高齢化が進展しています。とりわけ、東京の合計特殊出生率は1.24（平成27年）と全国最低であり、少子化の進行は顕著です。

少子化の直接の要因は、「未婚化・晩婚化」「初産年齢の上昇」「夫婦の出生力の低下」と言われており、その背景として、結婚や子供を持つことへの価値観の多様化、子育てに対する負担感、不安定な就業状況など様々な要因が指摘されています。

こうした状況を打破するために、結婚や出産をためらう若い世代や、子育て世帯に対する環境の整備や、社会全体で子育て支援を進める気運の醸成が求められています。

（公財）東京都福祉保健財団では、都からの出えんと都民等からの寄附による「東京子育て応援基金」を活用し、NPOや企業等による先駆的・先進的な取組に助成を行います。また、その取組の効果を広く普及することにより、東京の子育て応援の裾野を広げていきます。

東京子育て応援事業のイメージ



助成内容

◎助成対象者

都内に本社または事務所を有する法人
(設立後3年を経過しており、かつ活動実績があることなど一定の要件を満たす法人)

◎助成対象経費

初期投資費用及び事業運営経費

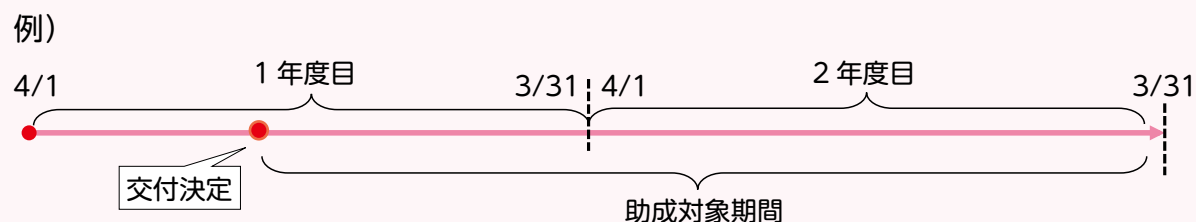
◎助成額

●助成額の算定方法

助成基準限度額2,000万円または助成対象と認められた経費のうち、いずれか低い額の2分の1と、総事業費から寄附金その他収入を控除した額とを比較して低い方の額を助成します。(最大1,000万円を助成)
上記の助成額を原則としますが、特に財団が認めた場合は、500万円を上限とした定額助成を行います。

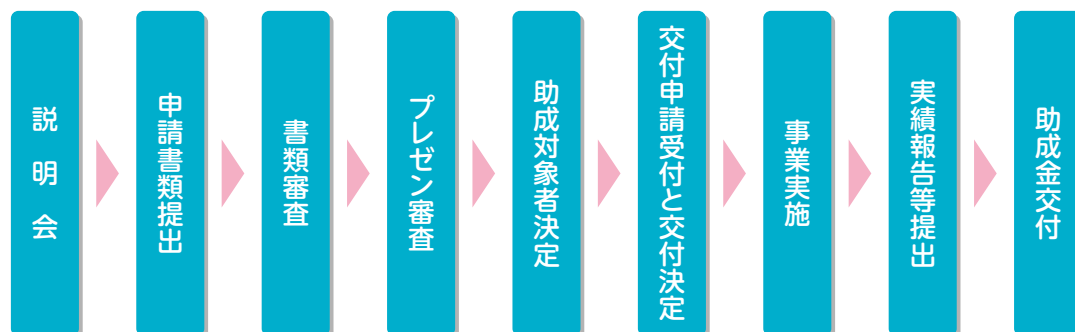
◎助成対象期間

交付決定の日から2か年度



◎スケジュール

書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象者を決定します。
助成金は、原則として事業終了後に交付されます。



審査項目〈概要〉

- ①趣旨の適合性 ②事業の目的 ③事業の先駆性・先進性 ④成果目標
⑤実現可能性 ⑥収支予算的確性 ⑦実行体制の確保 ⑧スケジュールの妥当性
⑨継続性 ⑩波及効果 ⑪上記項目以外で特に評価できる点

助成対象となる事業

少子化の要因を解消するためのライフステージを通じた幅広い取組を支援します

ライフ
ステージ

学齢期
(6 歳～ 18 歳)

大学・就職
(18 歳～ 25 歳)

就職後～結婚
(25 歳以降)

要因
少子化の

未婚化・晩婚化

少子化の
背景

社会的・職業的自立意識の低下

経済的理由による非婚化

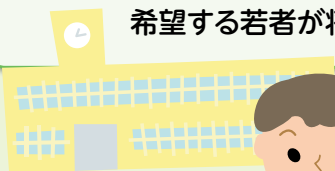
妊娠適齢期に関する知識不足

女性の活用やキャリア継続に

雇用・生活基盤の確保（住宅が狭小、家賃が高額）

ア 若者支援事業

希望する若者が将来家庭を築き、子育てが営める生活ができるよう支援する事業



イ 出会い・結婚支援事業

将来家庭を築くための出会いの場づくり、結婚に結びつけるために支援する事業

ロ 多世代交流事業 高齢者等の

ハ 子供・子育て支援事業

ア～エのほか、子供・子育て支援対策として効果が期待できる事業

助成対象事業

出産前

出産

子育て期
乳幼児期～（0歳～）

初産年齢の上昇

夫婦の出生力の低下

子育てに関する負担感

に対する雇用環境の整備が不十分

家賃が高い、物価が高い、通勤時間が長い



㊦親子の健康づくり事業

出産、育児に関する親子の健康づくりを支援する事業

りや



様々な世代による子育て支援事業

㊦子供・子育て支援事業

ア～エのほか、子供・子育て支援対策として効果が期待できる事業



「東京子育て応援基金」は寄附を募集しています

「東京子育て応援基金」では、都民や企業等の皆様からの寄附を募っています。社会全体で子育ての応援を進めるといふ本基金の趣旨にご賛同いただき、東京子育て応援基金の拡充にご支援、ご協力をいただきますよう、お願いします。いただいた寄附は、東京子育て応援事業の助成金に充てさせていただきます。

寄附の種類 寄附の種類には、「一般寄附」と「事業別寄附」があります。

一般寄附	特定の事業に限定せず、子供・子育て支援を行う団体を広く支援することができる寄附
事業別寄附	子供・子育て支援に関する事業のうち、特定の事業（若者支援、出会い・結婚支援、親子の健康づくり、多世代交流、子供・子育て支援）を選択し支援することができる寄附

寄附に伴う税制優遇

個人の場合	2,000円以上の寄附をしていただいた場合、確定申告の際に所定のお手続きをしていただきますと、所得税及び個人都民税について、税制優遇の対象となります。詳しくは、国税庁等のHPをご確認願います。
法人の場合	法人の皆様が寄附をしていただいた場合、一般の寄附金とは別枠で、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入をしていただくことができます。詳しくは、所轄税務署や国税庁のHPなどをご確認願います。

寄附の方法

- このパンフレットに添付されている「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、お近くのゆうちょ銀行のATMまたは窓口で払い込みをお願いします。（払込手数料は発生しません）
- 払込取扱票には、以下の内容をご記入下さい。
- 入金確認後、受領書等を送付いたします。

【通信】欄
a【寄附の種類】
「一般寄附」または「事業別寄附」を選択してください。
事業別寄附を選択する場合は（ ）内より具体的な事業を1つ選び○で囲ってください。
b【寄附者の紹介】
お名前や金額を基金広報誌等で紹介させていただく場合があります。
同意いただける方は□にチェックをお願いします。

払込取扱票

02	東京	口座記号番号		通常払込料金 加入者負担
00190	3	420001	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
東京子育て応援事業寄付金口			料金	備考
a ☐ 一般寄附 ☐ 事業別寄附（若者支援、出会い・結婚支援、親子の健康づくり、多世代交流、子ども・子育て支援） b ☐ 名前のみ紹介 ☐ 名前と金額を紹介				
ご依頼人 おとこ（郵便番号） おなまえ （電話番号）			日 附 印	

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第55824号）
これより下部には何も記入しないでください。

【金額】欄
寄附金額をご記入ください。
一口1,000円からお願いします。

【ご連絡先電話番号】欄
内容に不明な点がある際などにご連絡させていただく場合があります。

【おとこ】と【おなまえ】欄
受領書等を送付いたしますので必ずご記入ください。

東京子育て応援事業の取組紹介

東京子育て応援事業がこれまで支援してきた取組の一部をご紹介します。

スリール株式会社

地域の子育てインターンモデル事業

スリールでは、「仕事と子育てを学びたい学生」と「子育てをサポートして欲しい家庭」をつなげることで、子育て支援、キャリア教育等を目的としたインターンシッププログラムを実施しています。

助成を受け、大学での授業化を目指し活動を始めました。授業化を目指したきっかけは、大学生が「仕事と子育ての両立」に対して想像以上に不安を抱えているということを知ったことです。誰もがこのインターンを経験できるように広げていかなければ、次世代に希望が見えないという危機感がありました。

現在では、都内の複数の大学で授業の一環として取

り入れられています。参加した学生からは、「子どもと触れ合う機会がなかったので苦手意識をもっていたが、子どもが好きになった」、「仕事と子育ての両立は大変そうだったが、夫婦間の協力や工夫で、できるということがわかった」などの意見がありました。今後、社会人となる学生にとって、仕事と子育ての両立を前向きにとらえる良い機会となっています。



新しいプログラムを大学の授業に取り入れて貰うことは難しく、まずは実施をして価値を認識してもらうため、モデル事業として開始しました。平成29年度は、数校で大学の予算を得て実施をする事が決まり、継続した取り組みになっています。継続して次世代を育成する仕掛けができたのも、この助成金があったからこそだと感謝しています。

特定非営利活動法人 コドモ・ワカモノまちing

多世代交流のあそび基地&子縁コミュニティ育成 ～道や空地をもっと子育ての拠点に～

コドモ・ワカモノまちingは、道や広場、公開空地等を活用し、親子が集い、多世代で遊んで交流できる場所づくりを行っています。

子どもがまちで遊び、近所のおばさんや商店街のおじさんがそれを見守る。そんな当たり前の光景が、失われてきました。それに伴い、子育ての孤立化、地域コミュニティの崩壊などが問題となっています。そこで、世代、分野、地域を超えた多世代のつながりや、まち全体で子育てを支えるしくみの再構築をめざして

活動をしています。子どもの居場所はもちろん、子育て中の親が地域の先輩とつながりをつくることで、孤立の子育てが解消されます。

助成を受け、プレイカーを活用した「あそび基地」の実施や、イベントの担い手となる学生や主婦、高齢者を中心とした「あそびガイド」の育成等を行い、活動の規模や範囲を拡大してきました。今後、さらに地域と連携した幅広い取組の展開が期待されます。



助成をいただき、沢山の世代の方と触れ合うことができました。難しい課題もありましたが、顔の見える関係を丁寧に紡ぎ、コミュニティシェアすることで解決できる子育て課題がたくさんありました。小さな一滴かもしれませんが、継続することで、やがて川となり、海となります。東京を孤立の子育てから共生の子育てのまちにしたいと強く願っています!!



東京子育て応援事業の取組紹介

社会福祉法人東京武尊会

子供サポート事業「武尊塾(BUSONJUKU)」 ～夢ある子供を応援する無料学習塾～

東京武尊会では、意欲がありながらも経済的な理由等で学習塾に通うことができない子どもを対象に無料学習塾を開き、学習指導を行っています。あわせて、希望者には低額で食事を提供するほか、学習後にはレクリエーション活動や、さまざまな体験学習を実施しています。

子どもたちが将来、安定した仕事につき、安心して結婚・出産・子育てができるようになるには、経済的に余裕がなくても受けることのできる教育の機会が必要であるとして、武尊塾がスタートしました。食事の提供は働く親の負担軽減と、子どもの孤食防止を目的としています。

講師や調理師は地元のボランティアスタッフ。食材は地元農家が無料で提供してくれます。

地域で支えられて育った子どもたちが、将来大人になり次は社会を支える側になる。そのような広がり期待できる取組です。

■武尊塾の詳細

- ・週2回(月・木)実施、主要5科目が対象
- ・家庭料理を基本とし、心のこもった食事を提供



特定非営利活動法人バディチーム

養子縁組家庭(里親)の子育て支援と支援体制づくり

バディチームは、虐待防止を目的とした家庭訪問型の子育て支援を行っており、そのノウハウやネットワークを活かし、養子縁組家庭(里親)への訪問型子育て支援を開始しました。

「特別養子縁組家庭は、成立前は法的に親子ではないという理由で、行政の支援がうけられないことがある」という話を聞いたことが、事業提案のきっかけと

なっています。養子縁組家庭では、自分で里親になることを選択したためその大変さを訴えづらく、一人で抱え込みやすい状況にあります。こうした里親を支えるために家庭に訪問し、保育、家事、学習支援等の手伝いや相談を行っています。

こうした取り組みを充実させながら、社会で里親を支える仕組みづくりを目指しています。

■訪問型子育て支援の内容

- 保育 : 自宅での保育、公園、児童館での指定の場所にて子どもと遊ぶ、送迎支援
- 家事支援 : 日常のお掃除、お料理など
- 学習支援 : 宿題のお手伝いなど
- 相談・話し相手 : 子育て相談など



訪問支援を実施する中で、行政や関連機関との連携や協力もいただき、養子縁組家庭から多くの話を伺うなど大変貴重な経験を積みました。今後、こうした経験を踏まえ、さらに社会に還元していけるよう取り組んでいきたいです。



平成27年度 助成団体(全14団体)

スリール(株)、(特非)育て上げネット、(特非)文化学習協同ネットワーク、(株)西の風新聞社、(特非)アトピッツ地球の子ネットワーク、(特非)コドモ・ワカモノまちing、(株)トライグループ、(社福)東京武尊会、(社福)二葉保育園、(特非)子育てネットワーク・ピッコロ、(特非)tadaima、(特非)日本グッド・トイ委員会、(特非)日本冒険遊び場づくり協会、(特非)バディチーム

お問い合わせ先

公益財団法人東京都福祉保健財団 事業者支援部 運営支援室 子育て応援担当

〒163-0718 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル 18階

お電話 03-3344-8535 ファックス 03-3344-8596 ホームページ <http://www.fukushizaidan.jp>